

外用殺菌消毒剤

日本薬局方 希ヨードチンキ

希ヨードチンキ「タイセイ」

Dilute Iodine Tincture

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）

ヨード過敏症の患者

3.組成・性状

3.1組成

ヨウ素（I：126.90）2.8～3.2w/v%及びヨウ化カリウム（KI：166.00）1.9～2.1w/v%を含む。

有効成分	100mL 中 日局ヨウ素 3g
添加剤	ヨウ化カリウム、エタノール

3.2製剤の性状

性状	暗赤褐色の液で、特異なおいがある。
----	-------------------

4.効能又は効果

- 皮膚表面の一般消毒
- 創傷・潰瘍の殺菌・消毒
- 歯肉及び口腔粘膜の消毒、根管の消毒

6.用法及び用量

本剤をそのまま又は2～5倍に希釈し、1日2～3回患部及び皮膚に適量塗布する。

11.副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2その他の副作用

	頻度不明
過敏症	ヨード疹等
皮膚	刺激症状

12.臨床検査結果に及ぼす影響

血漿蛋白結合ヨード（PBI）及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

14.適用上の注意

14.1薬剤調製時の注意

深い創傷に使用する場合の希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

14.2薬剤使用時の注意

- 14.2.1外用にのみ使用し、内服しないこと。
- 14.2.2眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 14.2.3粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。
- 14.2.4同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥離を伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるので注意すること。
- 14.2.5口腔内に使用するとき、患部を乾燥させて塗布すること。
- 14.2.6引火性があり、爆発の危険性もあるため、火気には十分注意すること。

18.薬効薬理

18.1作用機序

ヨウ素及びエタノールの揮散性、殺菌作用、局所刺激作用により、主として外用殺菌、刺激剤としての薬効を有する。本剤の局所刺激作用は強力で、作用は速やかに發揮され持続性を有する。皮膚に塗布すると表皮細胞を壊死させ、皮膚から徐々に吸収されて内部組織にまで及ぶと考えられる¹⁾。

19.有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ヨウ素（Iodine）

化学名：Iodine

化学式：I

原子量：126.90

性状：灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なおいがある。ジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール（95）にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。ヨウ化カリウム試液に溶ける。常温で揮散する。

20.取扱い上の注意

火気を避けて保存すること。

22.包装

500mL（ガラス）

23.主要文献


- 1) 第十八改正 日本薬局方解説書、廣川書店、2021：C-5931～5933

24.文献請求先及び問い合わせ先

大成薬品工業株式会社 お客様相談室
〒833-0055 福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1
TEL:0942-53-4662 FAX:0942-52-8115

26.製造販売業者等

26.1製造販売元

 大成薬品工業株式会社
福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1